

こんにちは三原じゅん子です

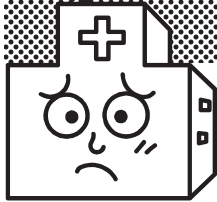
No. 10 2008年12月26日

日本共産党 名張市議会議員
三原 じゅん子
 すずらん台西4-202
 ☎0595-68-3552

生活相談は
お気軽に!



守れ! 市立病院

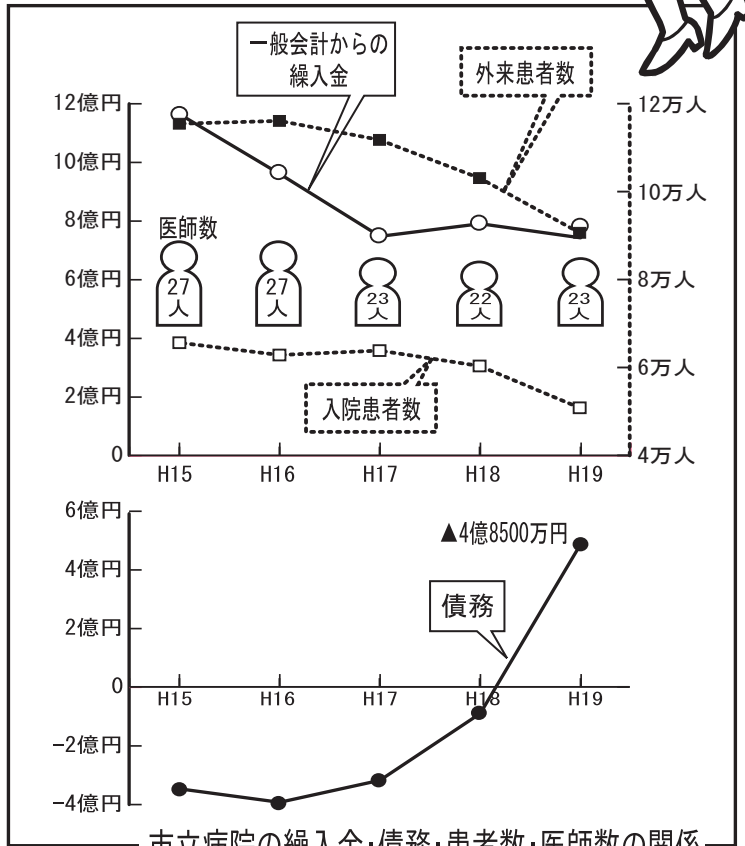


全国的に自治体病院の財政は年々悪化し、病院の閉鎖や民間委譲がすすんでいます。

議員になって3年目に入りました。日ごろ市民の皆さんから率直なご意見や暖かい応援の言葉を頂戴しありがとうございます。市の財政悪化がさかんに言われていますが、税金の使い方をチェックし、子どもからお年寄りまで安心して住める市政の実現のために頑張ります。



自治体病院の現状



公立病院改革ガイドライン
 「骨太方針2007年」の中で、病院の経営効率化・再編ネットワークの方策を示している。自治体病院の困難の原因である医療費削減政策はそのまま、自治体のみで改革をせざるもの。

公立病院改革ガイドライン

病院は赤字でも全体は黒字にすることができ、一方、多額の不良債務を抱える自治体は病院を民間委譲にするなどの切り離しにかかる懸念が、民間経営になれば不採算部門の受け入れ拒否などが予想される。

財政健全化法
 一般会計と病院などの特別会計を連結決算に



国の対策では抜本的な解決にならない

名張市の状況は...



- 市立病院は建設費の債務はありましたが、単年度収支ではH18年度までは黒字でした。
- しかし H19年度からは医師不足により、医療業務の縮小を余儀なくされ、外来は1万2千人減、入院は9千5百人減となり、経営が悪化し不良債務が発生しました。
- 救急輪番制では、患者が重なり受け入れができないなどの事態があり、市民の命が脅かされています。

共産党の考え

- ① 国の予算投入で医師の養成数を抜本的に増やす。
- ② 勤務医の過重労働を軽減するために薬剤師や助産師を増員。
- ③ 診療報酬の引き上げ。
- ④ 不足地域に医師を派遣・確保する取り組みを国が推進。

三原の意見
 自治体病院問題に限らず、多くの問題の根本は国策にあります。「国策だから何を言ってもだめ」「市議会とは関係ない」「それでは暮らしは変わりません。今は国に言われるままではなく、地方が国に意見し動かす時代です。」
 日本共産党は市会議員・国会議員・国会議員が力をあわせ地域の声を国政へつなげて政策を動かすことができます。
 暮らしを変えていくため、一緒に声をあげていきましょう!

